

## 既設の集熱パネルの集熱ガラスが破損してしまった場合の交換手順

### 【用意するもの】

1. 交換用ガラス (t3.2×1,772×862mm クッション材・シール材付属)
2. ⊕ドライバー(狭所作業用)
3. コーキング材
4. 樹脂製スクレイパー



狭所作業用ドライバー



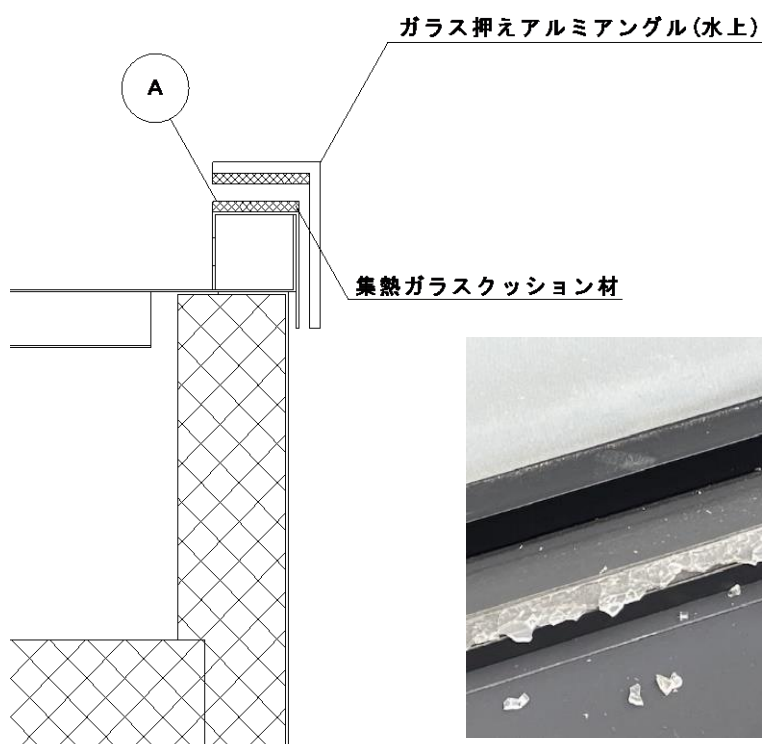
### 【交換手順】

1. 下準備

流れカバーを取り外す。

破損したガラスを綺麗に取り除く。

鋭利な破片が残ったままだと交換したガラスの小口を傷つけて新しいガラスを破損させる恐れがあるので注意。



## 2. ガラス押えアルミアングルの取り外し

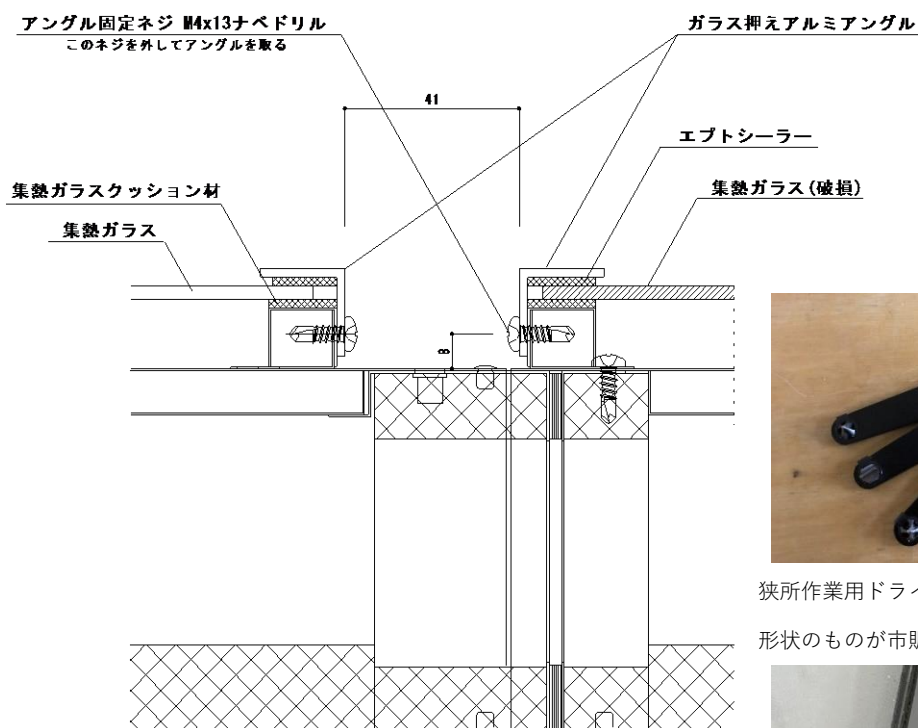
集熱ガラスを固定していた三方のアルミアングル（左、右、水下）を取り外す。固定ネジを外す際に強力なインパクトドライバー等を使用するとネジ及び下穴を破損する恐れがあるので極力手回しにて取り外す事。

水上側のアングルは棟包みと絡んで納まっている事が多いので、取り外せないのであればそのままの状態で行う。

取り外す事が可能な場合は、全てのアングルを外して作業した方が良い。

取り外したネジは紛失しないように保管しておく。

パネル同士の連結部に面するアングルを取り外す際は狭所作業用ドライバーを使用する。パネル同士の間隔が41mmなので、この範囲でネジの脱着作業ができるサイズの工具が必要。



狭所作業用ドライバーは色々なサイズ、形状のものが市販されている。

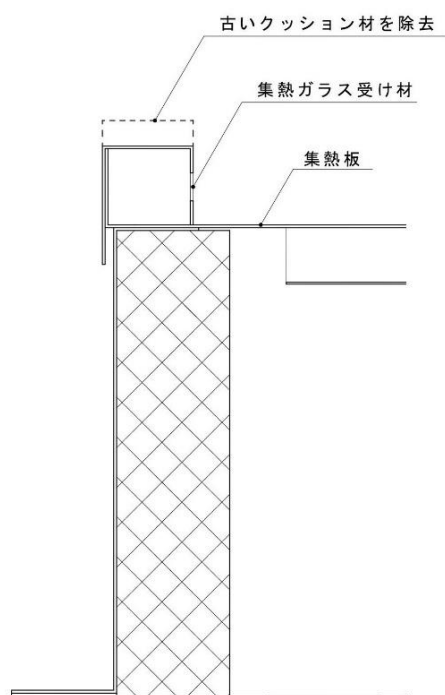


ガラス押えアングルを固定しているビスはM4x13ナベドリルである。  
紛失した場合は、現地で代替品を用意する。  
ガラス交換後にアングルを固定する際に不足したままにしない事。

### 3. 集熱ガラスクッション材の交換

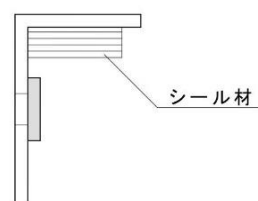
集熱ガラスを載せていたクッション材を取り替える。

既存のクッション材を全て取り除く。



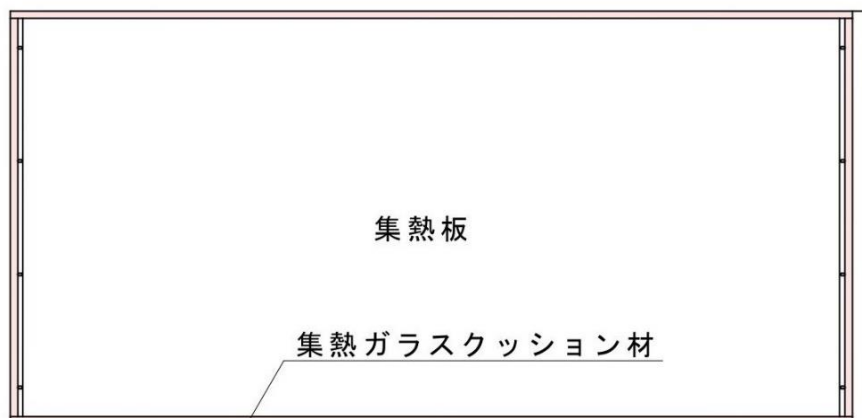
集熱ガラス受け材の上面に貼ってあるクッション材を全て取り除く。

ガラス押えアングル側のシール材が劣化している場合は、これを貼り換える。

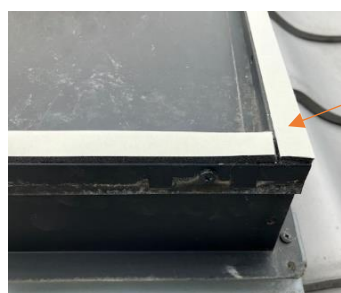


ガラス押えアングル

新しい集熱ガラスクッション材を集熱ガラス受け材に貼る。



### 横型集熱パネル(C)の場合



集熱ガラスクッション材

※ガラス施工前に剥離紙を取る

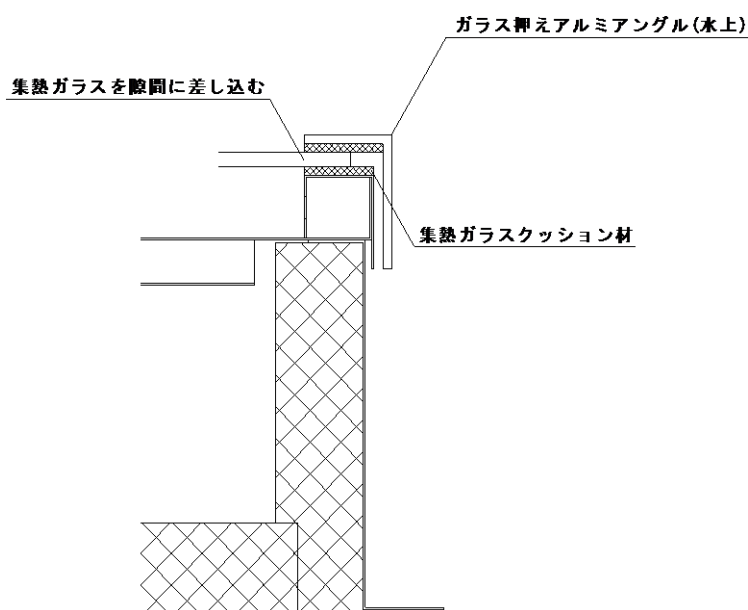
#### 4. 集熱ガラスの取付け

集熱ガラスを取扱う際は滑落と汚損防止のために必ず作業用手袋を着用する。

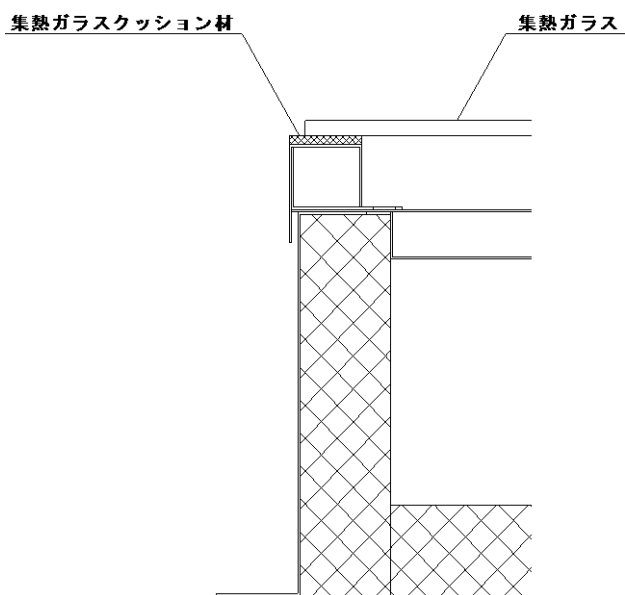
集熱ガラスには表裏がある。つるつるの平滑面が上向き、凹凸のエンボス面が下向きになる。

集熱ガラス水上側に「4」のBの要領でジョイントシール材を貼る。

集熱ガラスの上端を水上側ガラス押えアングルの隙間に挿入する。左端または右端を先行して挿入するがガラス中央部がたわむのでガラス下面に手を入れてたわみの中心を押し上げながらアングルの隙間に挿入する。



集熱ガラスクッション材の中央に集熱ガラスを載せる。

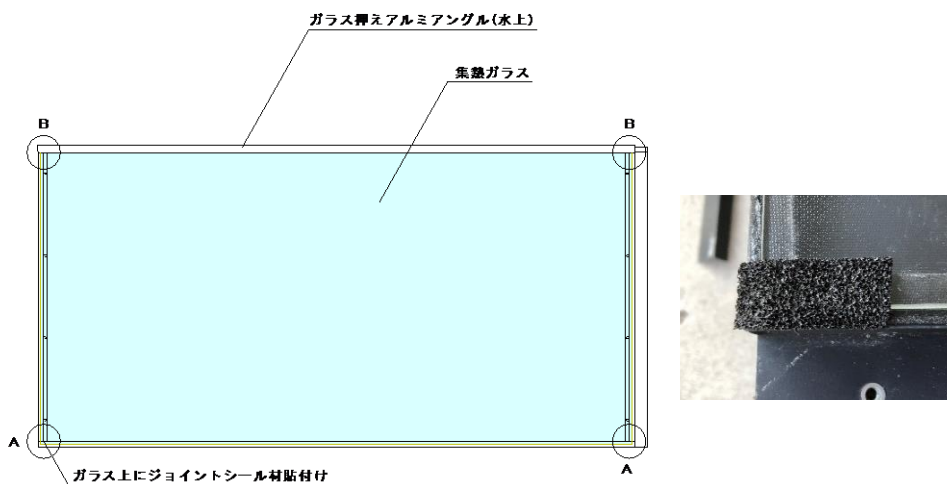


ガラスを移動させるために持ち上げる場合は樹脂製スクレイパーを使用するとガラスを安全に持ち上げることができる。

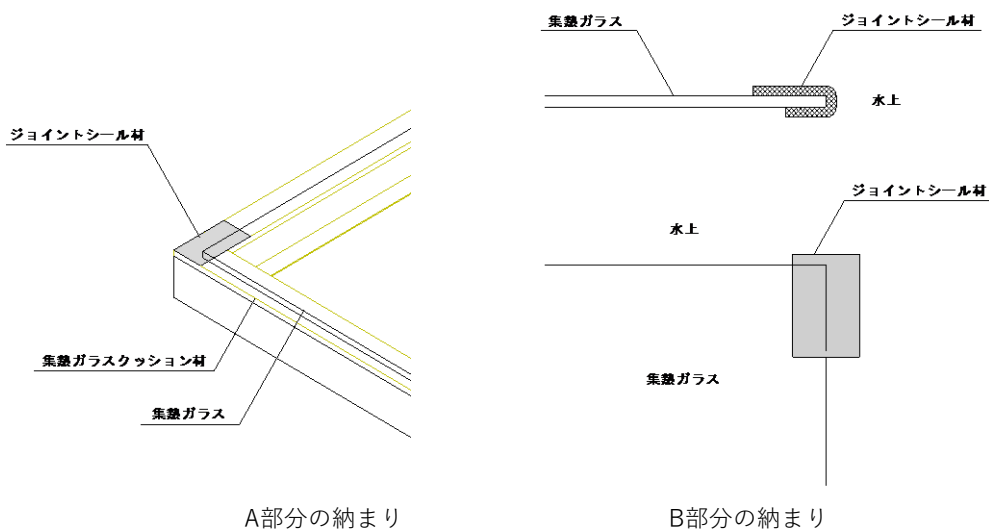


#### 4. ジョイントシール材の貼付け

集熱ガラス上面の下図の位置にジョイントシール材を貼り付ける。  
水下側はAのように、水上側はBのように貼る。



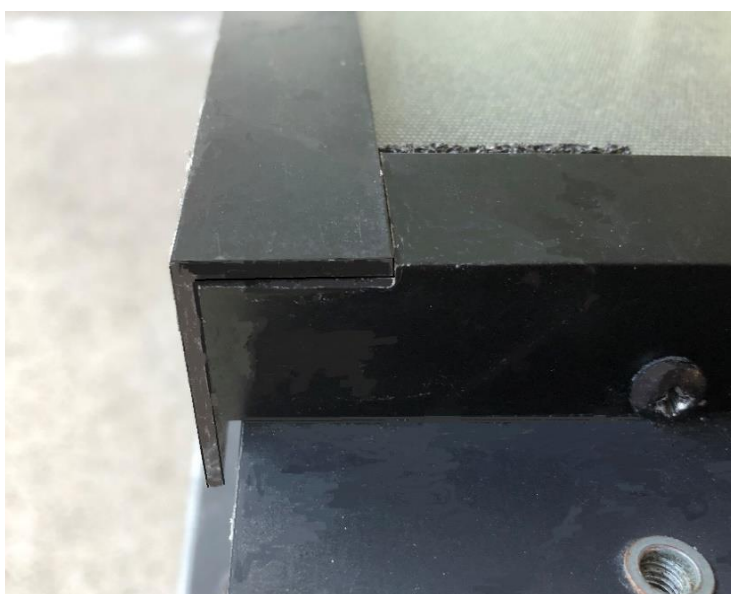
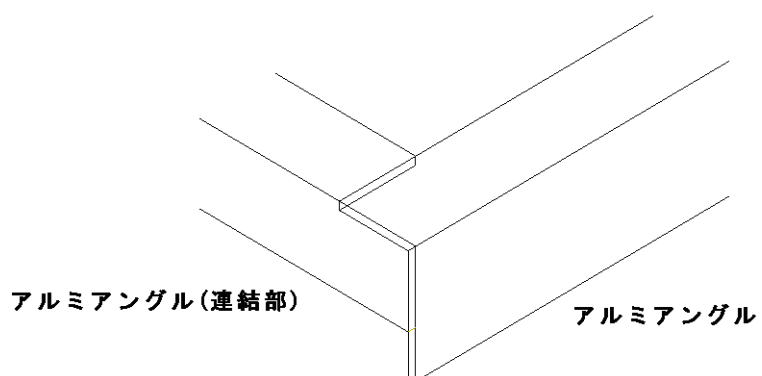
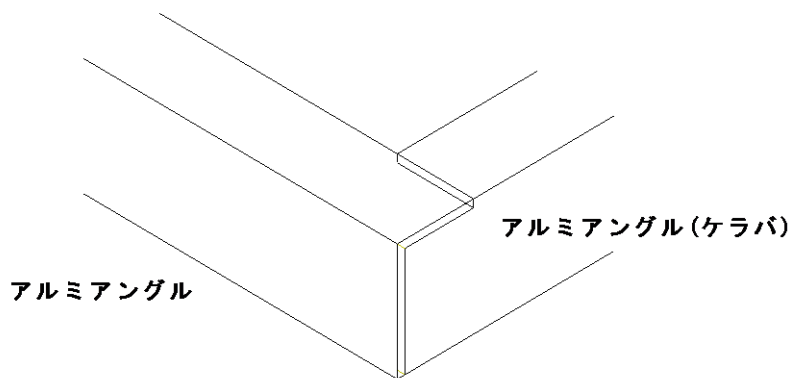
ジョイントシール材はガラス押えアルミアングルの接合部をシールするもの



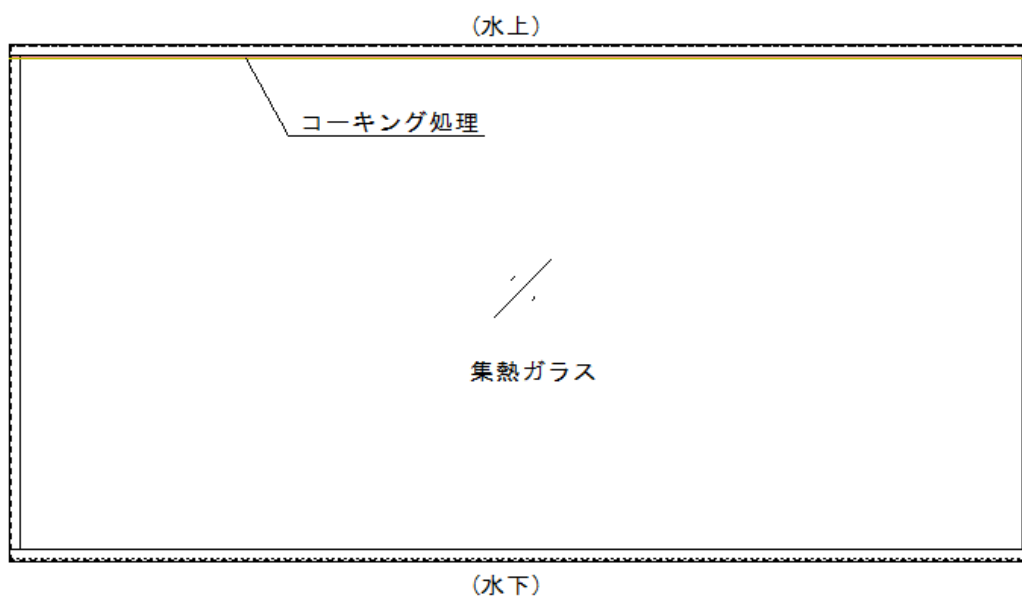
## 5. ガラス押えアルミアングルの取付け

ガラス押えアルミアングルを取付ける。側面用アングル（ケラバ・連結部）を先に取付けてから水下用アングルを取付ける。

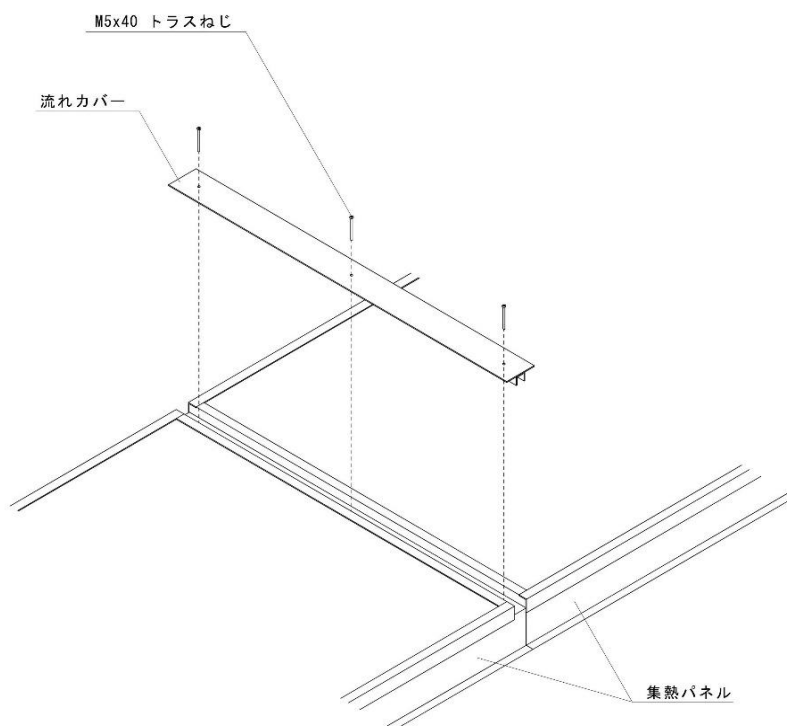
「2」で取り外した固定ネジを使用して集熱パネル本体にアルミアングルを取付ける。電動工具は使用せず、手回しで締め具合を確認しながら作業する。



6. ガラス押えアルミアングルと集熱ガラスの隙間をコーキング処理  
水上側のガラス押えアルミアングルと集熱ガラスの隙間をコーキング材で  
シールする。



7. 流れカバーの取付け  
集熱パネル間に流れカバーを取付けて作業完了。



合同会社サンシャイン・ラボ  
〒430-0947 静岡県浜松市中央区松城町200-9 白井ビル2階  
TEL:053-401-4008 FAX:053-401-4009